

# 腹腔鏡下腎尿管全摘出術を受けられる方へ

	OP前日 ( )	手術当日( )		術後1日目 ( )	術後2～6日目 ( )	7日目 ( )	8日目～退院 ( )～( )
		手術前	手術後				
<b>達成目標</b>	①不安なく手術にのぞめる		①痛みや尿をしたい感じが和らぎ安静が保てる ②麻酔の合併症がない ③尿がしっかり出る ④出血が多くない	①発熱、痛みがない	①歩行がスムーズにできる ②尿の管を抜いた後、排尿が順調にある	①抜糸出来る	①不安なことを聞け、安心して退院できる
<b>処置・治療</b>	●手術に必要となる物品の準備をします ●必要時、手術部位の体毛を処理します ●輸血が必要な場合には検査の為に検査を行います ●臍の処置をします	●朝から点滴をします ●入れ菌・指輪・眼鏡など、はずしておいてください 	●麻酔から醒めて病室に戻ります ●酸素吸入をします ●足にマッサージポンプが付いています ●点滴は24時間続きます ●鼻から胃にチューブが入って来ることもあります ●背中に痛み止めのチューブが入ってくる方もいます  ●お腹からのチューブが入ってきます	●様子で酸素吸入がとれます ●足のポンプは歩行できるようになったら外します ●点滴は食事が始まるまで持続で行います ●点滴があります-----> ●お腹のチューブは手術後2～3日位で抜けます ●尿の管を抜きます(5日目頃) ●鼻の管は1～2日で抜けます ●背中の痛み止めのチューブは手術後2～3日で抜けます	●抜糸をします 		
<b>検査</b>			●採血をします	●朝、採血をします 			
<b>内服</b>	●現在ご使用中のお薬を調べます(他病院や、当院各科で処方された飲み薬や外用薬、全て看護師にお渡し下さい) ●手術前日夜に眠剤を内服(ご希望される方)	●お薬は、指示のあるものだけお飲みください 			●食事開始となったら今まで飲んでいた薬が再開になりますので看護師より話をします		
<b>検温</b>	●検温を適宜行います ●血圧を昼に測ります 	●朝と入室前に検温をします	●随時状態を拝見します	●適宜状態を拝見します			
<b>食事</b>	●通常の食事です ●手術前、麻酔科医師の指示にて飲んだり食べたりすることができません	●医師の許可があるまで飲んだり食べたり出来ません 		●医師回診後水分を摂っていただけるようになります ●排ガスがあったらお知らせ下さい。鼻からのチューブが抜けます	●医師の診察により全粥食から開始になります		
<b>排泄</b>		●朝、検温後に浣腸をします(自然排便がない場合)	●尿の管が入ります ----->		●尿の管が抜けたらその都度尿量を測っていただきます。用紙をお渡しし、記入方法を説明します		
<b>安静度</b>	●病院内は自由です	●トイレは、点滴をしながら行くことが出来ます 	●手術後はベッド上安静となります。起き上がらないで下さい ●体を横に向けた時は看護師に言ってください 	●自分で横向きになってもかまいません ●回診後ベッドを起こすこともできます ●回診後歩行指示があります 			
<b>清潔</b>	●入浴できます 			●タオルで体を拭きます 着替えを用意してください	●傷の様子でシャワー浴が出来るようになります	●抜糸後、傷の状態が良ければ入浴できます	
<b>説明</b>	●担当看護師が入院までの経過、生活習慣等をお尋ねします ●入院生活の説明をします(日課・病棟案内・面会時間・床頭台など) ●手術についての説明をします(手術前後の経過・処置、必要物品の準備、合併症予防の注意点、麻酔の説明など) ●麻酔科医師・手術室看護師が訪問に来ます	<b>御家族の方へ</b> 手術室の前までは一緒に行くことができます 手術中は、2階の家族控え室でお待ち下さい 手術後、医師より説明があります	●手術後は深呼吸を行ってください ●痰も出ますので出しにくいようでしたら器械(吸引器)でとります ●口の渇きが強いようでしたらうがいができますので、こちらで介助します			●入浴方法を説明します ●傷のテープ保護について説明します	●退院時に次回の外来予約券、診察券をお渡します ●退院後の生活について説明します 

入院期間については現時点で予想されるものです。わからないことや、気になることがありましたら、看護師にお尋ねください

患者氏名( )